



2026年4月8日

株主各位

会社名 株式会社ポプラ  
代表者名 代表取締役社長 岡田 礼信  
(コード番号 7601 東証スタンダード市場)  
問い合わせ先 取締役常務執行役員  
経営企画室長 大竹 修  
(TEL 082-837-3510)

### 2026年2月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年2月期(2025年3月1日～2026年2月28日)におきまして、2025年4月11日に公表いたしました2026年2月期通期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 2026年2月期通期連結業績予想の修正(2025年3月1日～2026年2月28日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,497	373	373	247	18.05
今回修正予想 (B)	11,654	302	305	134	8.45
増減額 (B-A)	157	△71	△68	△113	
増減率 (%)	1.3	△19.1	△18.2	△45.7	
(ご参考) 前期実績 (2025年2月期)	12,028	408	412	376	28.07

##### 2. 差異の理由

2026年2月期通期連結業績につきまして、営業総収入は、主力の「ポプラ・生活彩家事業」において、競合店の影響等により9月以降の客数が前年を下回るなど苦戦いたしました。一方で、自社弁当工場の外部販売が伸長したほか、「ローソン・ポプラ事業」が好調に推移した結果、全体としては前回発表予想を僅かに上回りました。

利益面につきましては、原材料価格や物流費の高騰によるコストアップに加え、8月下旬に導入した「トンネル式フリーザー設備」の稼働に伴う増産体制構築のため、人件費等の先行費用が発生いたしました。

また、個別業績(単体)が計画を下回る見通しとなったことに伴い法人税等の見積もりを見直した結果、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を大きく下回る見通しとなりました。

※ 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる場合があります。

以上